

# ときわ木



令和2年2月21日

616号

## 修了式まで17日・卒業式まで12日



### ◎工藤心愛さん

「笑うという行為なしに、人間は生きていけない」

6年生となり全校のリーダーとしての責任に不安を感じ、笑顔を忘れていた。この言葉に出会い、笑顔を意識するようになったことで、楽しい日々をおくることができた。地域の方との交流の時は、特に笑顔が大切だと感じた。これからも笑顔を忘れず、自分に自信をもって過ごしたい。

### ◎大倉悠さん

「グーみたいな奴もいて チョキみたいな奴もいて パーみたいな奴もいる」

自分ができなくて他の人ができるとイライラすることがあった。そんな時に会った言葉で、人にはそれぞれ特徴があって、優れているとか劣っているとかはない。十人十色とも言う。自分できて、他の人ができないことも絶対あると信じ、前向きに頑張りたい。



### 「6年生卒業スピーチ」

今までの自分を振り返り、出会った素敵な言葉を紹介しながら、下級生にも元気や勇気を与えるスピーチをしました。

#### ◎幸坂空和さん

「どんなウソついたって、自分の心だけはだませねえんだぜ」

人に自分の気持ちを伝えず、自分で解決しようとため込んでしまうことがあった。アニメの主人公が言ったセリフに出会い、素直に自分の気持ちを伝えることの大切さに気付いた。今、自分の気持ちを相手に伝え、楽しく生活している。

#### ◎土谷小春さん

「可能性は0じゃないと考えるより、可能性は無限にあると考える」

「どうせ無理だよなあ」と自信をなくし、挑戦する勇気がなかったが、この言葉に出会い、自分の夢を叶えるための第1歩になると思った。銀河連邦に参加したり、運動会のあいさつをしたりした時、自分に「可能性は無限にある」と言い聞かせ頑張った。

#### ◎飯坂一輝さん

「自分の足で地に立って歩け」

面倒くさいと思って、自分のやるべき事をやらずに人任せにしていたことがあった。この言葉に出会い、自分でやろうとする気持ちが出てきて、怠ける自分に負けないぞ、という前向きな気持ちになり、行動に表して自分から積極的にやるようにしている。

## 節分集会<1~3年生>



2月3日は節分。日本に古くから伝わる行事ですが、今では、豆まきをする家庭が少なくなったとか。低学年は、豆まきをして心の中の鬼退治をしたり、福笑いのゲームをしたりして節分集会を行いました。

今年は、雪が少なく、雪遊びができるのを今か今かと待っていた子どもたちです。久々に雪が降った日は、天気もよく、1~2年生は、雪だるまを作ったり、そりに乗ったり、雪合戦をしたりして雪国の遊びを楽しみました。次の日は雨で・・・雪遊びができたのは、1日だけでした。



### 4年生プラネタリウムで星の観察

夜、星空をながめると「オリオン座」や「冬の大三角」がはっきりと見えます。皆さんも是非、星空を眺めてみてください。

子ども館のプラネタリウムでは、他にも様々な星の形や動き方を教えていただきました。あまりの美しさに「ずっと、ここにいたいなあ」という4年生でした。



澤田さんの読み聞かせも最後となりました。「たいせつなきみ」というラストに相応しい心に響くお話でした。ありがとうございました。

毎年、保護司の簾内さんという方から、手作りのティッシュケース入れをいただいておりますが、今回で最後となります。好きな模様を選びました。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

# 6年生を送る会

～6年生ありがとう～  
お世話になりました



6年生がかわいい低学年と手をつないで入場。一人一人紹介され、ワンポーズと一言メッセージ。

5年生が中心となって計画・準備したゲーム。今年は「似顔絵ゲーム」「ピンポン球リレー」を行いました。心を込めて描いてくれた似顔絵に、6年生は大満足？していました。



6年生からのお礼の発表は「パプリカ」の演奏でした。盛り上げ隊の在校生達による踊りや、会場の皆さんの鈴やカスタネットなど、楽器を持った盛り上げにより、会場の皆さんが1つになった瞬間でした。参加者全員による参加型の集会となりました。

また、退場の際にも保護者の皆さんと一緒にアーチを作り、6年生を送っていただきました。常盤小学校最後に相応しい「6年生を送る会」でした。



## 常盤小学校PTA



PTA総会も最後となりました。今年度は、例年の活動の他に閉校記念事業に関わるご協力もいただき、ありがとうございました。小林PTA会長さんの「三本締め」で、常盤小学校のPTAを閉じました。

感謝・感謝・感謝しかありません。ありがとうございました。

## 校舎見学 (2月8日) ～ようこそ 先輩～

地域センターで還暦の方や厄年の方の修祓式の後、校舎見学を行った常盤小の先輩達。「新校舎に初めて入りました」という方が多かったのですが、掲示物をご覧になり懐かしんでおりました。佐藤正人様より、お礼のお手紙が届きましたので紹介させていただきます。



拝啓 春の訪れが待ち遠しいこのごろ、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。先日は、私どもの還暦修祓式に際しまして、校舎を見学させていただき誠にありがとうございました。

立派な校舎を誇らしく感じるとともに、廊下に展示されていた旧校舎の写真を懐かしく拝見いたしました。体育館では誰からともなく校歌を口ずさみ、幼かったあの頃に思いをいたしました。

中学校に続いて小学校もこの3月で閉校とうかがい、寂しい気持ちでいっぱいですが、でも、ここで学び、育った私どもの記憶から消えることはなく、これからも心のよりどころとして生き続けます。

かわいい後輩たちにもこのことをお伝え頂ければ幸いです。新しい学校でものびのびと学び、成長されることを願っております。

寒さもしだいにゆるみはじめる昨今、皆様のますますのご健勝を心よりお祈りいたしております。

佐藤 正人